

経営比較分析表（令和6年度決算）

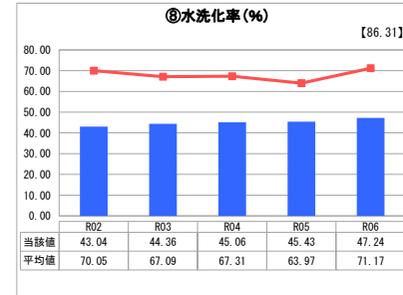
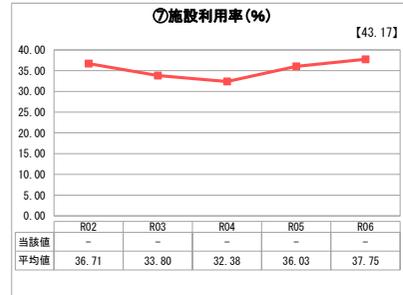
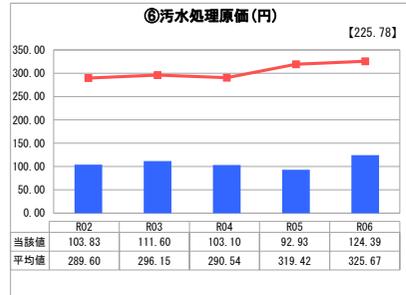
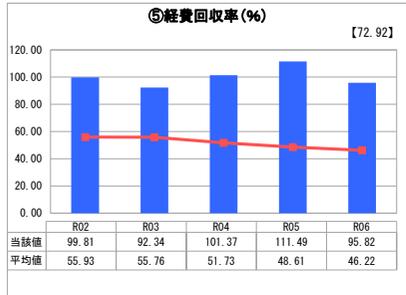
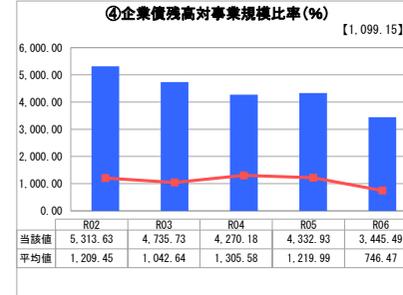
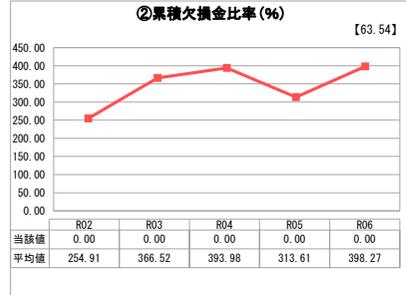
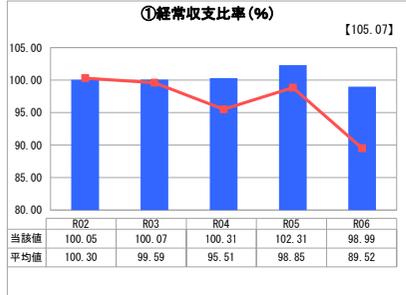
埼玉県 上里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	61.59	3.28	100.00	2,167

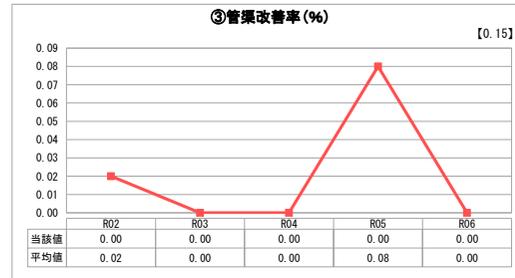
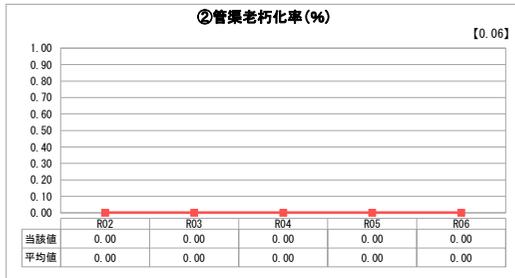
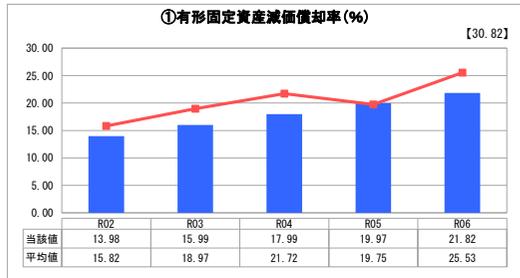
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
30,530	29.18	1,046.26
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
997	0.27	3,692.59

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
前年に比べ減少し100%を下回っているため、今後は料金改定や費用削減等、経営の見直しを行っていく必要がある。

②累積欠損金比率
累積欠損は発生しておらず、健全な状況と考えられる。

③流動比率
前年度に比べ減少しているものの十分な支払い能力は確保できている。今後も100%を上回れるよう継続していく。

④企業債残高対事業規模比率
平均値と比べ高い水準であり、使用料収入に対して企業債残高が大きい状況である。区域内の整備事業は完了しているため、今後次第に減少すると考えられる。

⑤経費回収率
近年の物価高騰により、汚水処理費が増加傾向にある。使用料改定などを行い経費を回収していく必要がある。

⑥汚水処理原価
平均値より低い水準で推移しているため、今後も経費の効率化を図っていく。

⑦水洗化率
例年増加傾向であり、水洗化率の向上は収益の向上に直接結びつくため、啓発活動を通じて公共下水道への加入を促し、さらなる接続率の向上を図る。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
償却対象資産の老朽化が進んでおり、平均値とほぼ同等の数値となったが、現状更新工事を行っていないため今後も上昇傾向となる見込みである。

②管渠老朽化率
管渠工事はH7年度からの実施であり耐用年数を超える管渠はなく、0%となっている。

③管渠改善率
更新が必要な管渠が現状無いため更新は行っておらず、0%となっている。

全体総括

経営の健全性・効率性については、経常収支比率が例年並みで推移しており、概ね健全であると考えられる。今後は流域下水道の維持管理負担金の値上げも想定されるため、適正な使用料収入の確保といった経営改善の検討が求められるほか、引き続き健全な財政運営を行っていくための経費の効率化などの取り組みが必要であると考えられる。

また、今後は併用開始後の経年に伴う管渠等の老朽化への対策が必要になると見込まれるため、将来の更新需要に備え計画的に事業を行っていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。